

総合情報メディアセンターNEWS

2019年 1月

第10巻 第4号

ログインとセキュリティ対策



皆さん、パスワードは強固なものを設定していますでしょうか？パスワードを強くしても、ログインするときに注意しないとパスワードを盗まれるかもしれません。以下の記事を参考に、ログインするときのセキュリティ対策を行きましょう。

(講師 浜元信州)

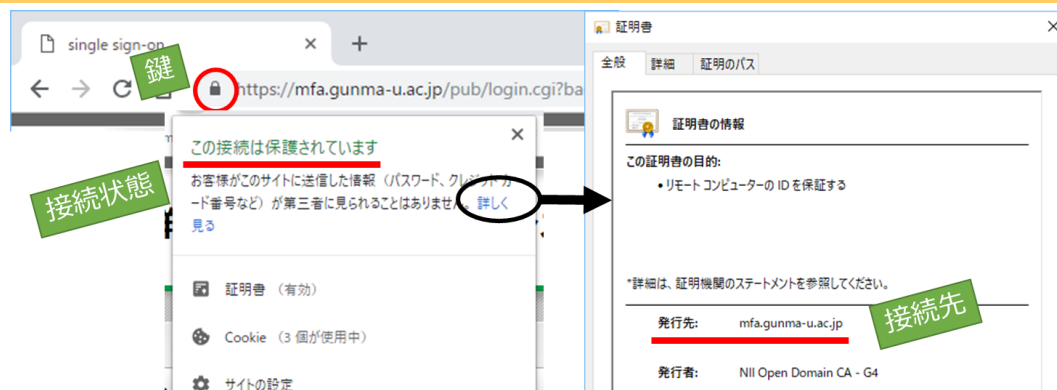
■フィッシングに注意！

近年、フィッシングメールの被害が多発しています。日本の大学でも、メールのリンク先から、本物そっくりの偽ログイン画面に誘導されて、ユーザIDとパスワードを入力してしまう事例が増えています。

皆さんは、全学認証アカウントのログインページが本物が偽物か、判定できるでしょうか？以下のポイントをしっかり確認して、偽画面にだまされないようにしましょう。

初めに「鍵マーク」をクリック！（鍵マークがない場合は、偽サイトです。）

1. **接続状態を確認：**「保護されています（Chrome,IE）」, 「安全な接続（Firefox）」, 「暗号化されています（Safari）」等の文言を確認してください。
2. **接続先を確認：**群馬大学シングルサインオンのログインページの場合は「mfa.gunma-u.ac.jp」です。ChromeやIEでは、「証明書（の表示）」をクリックして確認しましょう。



■二段階認証を利用しよう

二段階認証では、パスワード以外にもう一つ、本人しか知りえない情報を利用して認証を行います。

- 「パスワード」と「登録したメールアドレスに送られてくる数字」
- 「パスワード」と「スマートフォンアプリ（Google Authenticator等）で表示される数字」

などの組合せが多く利用されています。これはOTP（One Time Password）というもので、数字は毎回変わるため、簡単には盗みとることができません。

Amazon, Apple, Facebook, Twitter, LINEなど有名サービスも二段階認証に対応しています。全学認証アカウントでも、今年度中に導入を予定しています。ご利用のサービスで二段階認証を設定してみてもいいかもしれません。パスワードのみの場合よりずっと安心できます。



ログインとセキュリティ対策 (つづき)

■メールソフトでの全学Gmailへのログイン

全学Gmailは、WebメールによりWebブラウザでメールを使えます。総合情報メディアセンターではWebメールの利用を推奨していますが、Apple MailやThunderbird等のメールソフトを使い慣れている方は、メールソフトを利用することもできます。メールソフトを利用する場合は、Webブラウザでのログインではなくなるので、セキュリティ対策も変わってきます。

本学でGoogle (GSuite) を利用したメールサービスを開始してから10年近く経過していますが、この間にGoogleの認証方式も変わりました。従来どおりのやり方でApple MailやThunderbird等のメールソフトを使うと「安全性の低いアプリ」と見なされるようになっていきます。今回、利用マニュアルを見直し、これまでより安全なOAuth2を利用した設定を推奨としました。これで「安全性の低いアプリ」とは見なされなくなりますので、メールソフトをご利用のみなさまは設定の見直しをお願いします。

安全性の低いアプリの許可: 無効



一部のアプリや端末では安全性の低いログイン技術が使用されており、アカウントの脆弱性が高まる可能性があります。こうしたアプリについてはアクセスを無効にすることをおすすめします。有効にする場合は、そのようなリスクをご理解の上でお使いください。

設定方法はセンターWebページを参照してください。
ホーム>ITサービス>メール>全学Gmail



■共用PCでのログイン

全学GmailなどGoogleのサービスでは、一度ログインするとログイン情報を長期間保存し、ユーザ名とパスワードを聞かれることがほとんどなくなります。共用PCでは、他人のアカウント情報も保存されてしまいます。このため、共用PC等で利用する際には、プライベートモードの利用をお勧めします。プライベートモードではログイン情報は保存されず、ブラウザを閉じればログアウトとなります。

特別展示「群馬県古墳発掘の父・尾崎喜左雄博士展 Part3 ～群馬県内の古墳発掘・調査の歴史を識る～」を開催しました

—中央図書館—

11月27日（火）～12月21日（金）、2F学習室において群馬県立歴史博物館（以下、歴博）の協力のもと、「群馬県古墳発掘の父・尾崎喜左雄博士展 Part3～群馬県内の古墳発掘・調査の歴史を識る～」を開催しました。



3年目となる今年は、期間と規模を拡大し、テーマを「佐波伊勢崎地域の古墳」として展示を行いました。初日にメディアに取り上げられたこともあり、連日多くの入場者を迎えました。

12月9日（日）に開催したトークイベントには、県内外の考古学ファンや尾崎博士の門下生が集い、歴博の深澤敦仁氏のギャラリートーク、右島和夫歴博館長と清水和夫教育学部同窓会長のトークショーを大盛況のうちに終ることができました。展示期間だけでなく常設で尾崎



博士の考古遺物を見たい、今回展示していない資料も見たいという声が多く聞かれました。

（中央図書館 柘植久美子）

「脳神経再生医学ポスター展」を開催中です (11/13~1/31)

—医学図書館—

医学図書館では、医学系研究科 脳神経再生医学分野の平井教授にご協力いただき、ポスター展を開催しています。

学会発表で実際に使用したポスター3枚と、研究を分かりやすく紹介したポスター1枚を展

示しています。

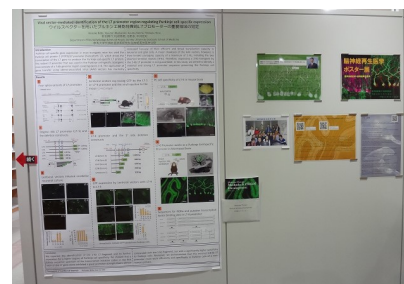
ぜひご覧ください。

■期間：

11月13日(火)~1月31日(木)

■場所：

医学図書館2F西側閲覧室前
(医学図書館 宇敷智美)



群桐祭サイエンステクノ教室に出展しました

—理工学図書館—

去る10月20日(土)群桐祭のサイエンステクノ教室に理工学図書館も出展しました。

「しおりでサイエンス いろのひみつ」と題し、ペーパーク



ロマトの原理を用い、水性ペンのインクを分離させる実験のワークショップを行いました。予め円形に切り抜いたろ紙に水性ペンで点をつけ、水滴をたらすとペンのインクが水と一緒に広がっていき、とても綺麗な色合いに変化します。そのろ紙をお花に見立てたしおりを作成してもらいました。未就学児から大人まで、ご家族全員でも楽しめる実験とあってリピーターも

多く、参加者数は236名と予想以上でした。また実験内容にも関



心を持っていただき、参加者から「面白かった!」と大変好評でした。ご来場いただいたみなさまありがとうございました。

(理工学図書館 根岸貴子)

第19回アゴラカフェ・ミニレクチャー「アジアのネットカフェから見るインターネット利用の多様性」を開催しました

—中央図書館—

中央図書館では、学内の先生方にご自分の研究テーマについて、図書や資料を使って紹介していただく教員展示と、ラーニングコモンズ「アゴラ」で学部生や学外の方にも分かりやすく



お話いただくアゴラカフェ・ミニレクチャーを年4回開催しています。

12月3日(月)には、社会情報学部の平田知久准教授を講師にお迎えし、「アジアのネットカフェから見るインターネット利用の多様性」をテーマにお話いただきました。社会学をご専門とされる平田先生は、アジア各国のネットカフェでインタビュー調査を行われたそうです。その国によって、ネットカフェの設備も役割も異なるとい



うことを、先生が現地で撮影された写真を交えて解説してくださいました。平田先生、興味深いお話をありがとうございました。

(中央図書館 柘植久美子)

第16回桐生楽講座を開催しました

11月8日（木）に第16回桐生楽講座を開催しました。講師には桐生市広報課シティブランディング推進担当の大澤善康氏を迎え、「～キーワードは自分ゴト化～桐生市シティブランディング」をテーマにご講演いただきました。公式インスタグラム「桐撮り（キリトリ）」の開設や、民間や地域の方が行う

イベント支援の事例などを紹介しながら、桐生に暮らす人や訪れる人が桐生の魅力を発見・発信し共有することで桐生の魅力を「自分ゴト化」していくことが大切だと語っていただきました。参加者からは、桐生市HPの便利なコンテンツをぜひ活用したいという声も寄せられました。みなさんもぜひHPやイン

ー理工学図書館ー

スタグラム「#桐撮り」を活用して桐生の魅力を見つけてみてください。

（理工学図書館 山内可菜）



防災デイキャンプを開催しました

12月7日（金）、中央図書館では教育学部家政教育講座田中研究室及び理工学部環境創生部門社会基盤防災コース金井研究室と連携して、防災デイキャンプを共催しました。



当日は、前橋市危機管理室担当者からの講話、起震車体験、非常持出袋の検討、バッククッキング、救急救命講習、クロスロードゲームといった防災に関わる多くの学習と体験を行い、「デイキャンプ」の名のとおり短い時間ながらも充実した内容を実施することができました。

大学周辺の一般市民や大学教職員・学生など合計44名の参加者があり、震度7の起震車体験

ー中央図書館ー

など、災害時の状況を実際にシミュレーションすることで、事前の準備がいかに重要であることを理解できました。

中央図書館からも7名の職員が参加しましたので、今回の体験で得られた知識を防災計画や災害発生時の利用者対応に反映させていきたいと考えます。

（中央図書館 原田明彦）

卒業生向けサービスについて

■図書館

開館時にはいつでも入館可能です。図書の閲覧に加え、本学で契約している電子ジャーナル、データベースのほとんどを館内から利用できます。「図書館利用証」の発行を受ければ、図書の貸出もできます。

なお、お近くの公共図書館から本学図書館の本を借りることもできます。

■全学Gmail

卒業後もメールアドレスは変わりません。本学からメールをお送りすることがありますので、引き続きご利用ください。

■マイクロソフト包括ライセンス

Office365をご利用していた方は卒業後直ちに利用できなくなります。その他のソフトは利用できますが、新規インストール・アップグレードはできません。

■トレンドマイクロ製品

卒業後は利用できなくなります。直ちにアンインストールしてください。



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

群馬大学総合情報メディアセンター

荒牧地区：前橋市荒牧町4-2
昭和地区：前橋市昭和町3-39-22
桐生地区：桐生市天神町1-5-1

Webサイト <https://www.media.gunma-u.ac.jp/>
図書館ブログ <http://blog.media.gunma-u.ac.jp/>
Twitter公式アカウント [@Media_Gundai](https://twitter.com/Media_Gundai)

TEL (027)220-7170
FAX (027)220-7184



本コンテンツは、クリエイティブ・コモンズの表示-改変禁止 3.0 ライセンスのもとでライセンスされています。